

設計図書等に関する質問・回答書

平成 28 年 9 月 9 日

商号又は名称
代 表 者

工事番号	平成 28 年度 仙松維第 8 号 - 1 号	
工 事 名	仙台松島道路 橋梁修繕 (黒ヶ沢橋) 工事	
番号	質問事項	回答事項
1	<p>防護柵補修工図(図番2/8)において、SSI工法の鉄筋防錆材基本物性が示されています。</p> <p>付着強度 28日 1.5N/mm²以上 塩化物イオン吸着量 15.0mg/g以上 亜硝酸イオン放出量 55.0mg/g以上</p> <p>この数値は、高性能防錆ペーストSJ1の性能と見られます。</p> <p>SSI工法の基本パターンは、Sa(主筋の半分まで露出させる)、Sd(主筋の背面まで露出させる)の二通りがありますが、計上されているSSI工法の基本パターンと材料組み合わせをご教示願います。</p>	<p>SSI工法によりコンクリート5cmをはつり断面補修基本パターン (Sa) 仕様により、計上しています。</p> <p>特記仕様書・特記事項その他 (5)設計図書に記載されている同等品以上のものとしています。</p>
2	<p>床版補修工図(図番4/8)において、炭素繊維シートの性能として「引張剛性 EA=96kN/mm以上を満足すること」と示されています。</p> <p>数量計算書に示されている中弾性300g/m²目付けの炭素繊維シートの引張剛性は、規格を下回るものと考えられます。</p> <p>引張剛性 EA=96kN/mmを満たすためには、中弾性400g/m²目付けまたは、中弾性450g/m²目付けの炭素繊維シートが必要と考えます。</p> <p>使用する炭素繊維シートの種類をご確認のうえ、ご教示願います。</p>	<p>炭素繊維引張剛性について、設計照査等確認し、必要に応じ仕様について、設計変更協議の対象とします。</p>
平成 28年 9月 13日		
<p>回答者 宮城県道路公社理事長 (公印省略)</p>		